

手術名	鼠径ヘルニア手術	ID-	入院病棟	担当医師	担当看護師
		様	第1病棟3階		

月日	平成 年 月 日	月 日	
経過	入院日	手術日(術前)	手術日(術後)
観察 処置	- 体温・脈拍・血圧を測定します。 - 手首にネームバンドを付けます。 - 身長・体重を測定します。 		- 手術後はベッドでハイケアルームに戻ります。 - お部屋に戻ってから、適宜検温を行います。 - 尿の管や心電図、点滴、酸素マスクがついている状態です。
内服 注射	- 普段飲まれているお薬のある方は、看護師にお渡し下さい。 - 眠れない場合には安定剤をお渡しすることができます。 - 入院後に、薬剤師よりお薬についての説明を行います。	 薬が必要な場合は、看護師がお渡しします。	  薬は主治医の指示があるまで飲まないで下さい。 抗生物質の点滴を手術後も行います。
食事	夕食後より絶食となります。	- 絶食です。 - 水分(水、茶、スポーツ飲料)、OS-1ゼリーは 午前手術は 時まで 午後手術は 時まで 飲水可。	絶食です。食べないで下さい。
活動 清潔	- 制限はありません。 - おへそをきれいにします。 その後、入浴していただきます。 入浴できない方は体を拭きます。 	- 男性の方は髭を剃って下さい。 - 髪の毛の長い方はゴム等でまとめて下さい。 - 歩いて手術室に向かいます。 - 歩行困難な場合、車椅子などを使用します。	 お部屋に戻ってから、ベッド上安静となります。 - 血栓予防のために足を動かすようにして下さい。 - 体の向きを変えたいときはお知らせ下さい。
その他	- 入院生活と手術について説明します - 同意書を提出して下さい。 	- 義歯、指輪、コンタクトレンズ、化粧、マニキュアは取っておいて下さい - ご家族は、病室またはデイルームでお待ちください。所在は看護師にお伝え下さい。	手術日の付き添いは基本的には必要ありません。 ※ 場合によってはご依頼させていただくこともあります。

代表的なパスの一例です

手術名	鼠径ヘルニア手術	ID-	入院病棟	担当医師	担当看護師
		様	第1病棟3階		

月日	月 日	月 日			
経過	術後1日目	退院日			
観察 処置	- 朝・昼・夕に検温を行います。 - 状態に応じて、尿の管、心電図、酸素マスクを外します。 - 早朝に採血を行います。	朝に検温を行います。	- 診察券をお返しします。 - 次回受診の説明を行います。 【退院指導】 - 傷が赤くなったり、腫れるなどの異常があれば、早めに受診して下さい。 - 便秘にならないように水分は十分に摂して下さい。 - 食事について 手術後の制限は特にありません。 - 再発予防について ヘルニアは再発することがあります。 手術後1ヶ月は避けて下さい ・激しい運動やスポーツ ・重い荷物を持つ ・腹圧をかけるような行為		
内服 注射	点滴が全て終了したら針を抜きます。				
食事	昼食からお粥が出ます。	朝から米飯食となります。			
活動 清潔	- 午前中に体を拭きます。その後、パジャマに着替えて下さい。 - ベッドサイドで立つ練習をして、様子を見ながら歩行を進めていきます。	主治医の許可があればシャワーできます。			
その他					

注1 診断名、診療計画は現時点で考えられるものであり、今後診療を進めていくに従い、変わりうるものです。

注2 退院日は現時点で予想されるものです。